
インフォリーフ、飲食店や企業向けに GSE 除菌剤「BNUHC-18 スプレーボトルセット」を新発売

インフォリーフ株式会社（本社・東京都品川区、代表取締役・古瀬幸広）は、新型コロナウイルス感染症が再び猛威をふるう現況を踏まえ、2021 年 1 月の発売以来、介護施設や保育園、音楽教室や個人からリピート注文をいただいている GSE 除菌剤・BNUHC-18 の「スプレーボトルセット」を新発売します。

BNUHC-18 が採用する GSE（Grapefruit Seed Extract）は植物フラボノイドのかたまりで、多数の菌・カビ・ウイルスを抑制する機能を持ちながら、ヒトに安全な抗酸化物質です。肌に触れても荒れることはなく、安心して頻繁に使えることから、ワタミ株式会社様がテーブルに常備することを決定するなど、ウイルス対策として採用する飲食店が増加中です。新製品はスプレーボトルを 20 本セットしており、GSE を随所で活用できます。

BNUHC-18 スプレーボトルセット

BNUHC-18/5L と 100ml スプレーボトル 20 本のセット

価格：12,800 円（消費税別）

BNUHC-18 直販サイトで発売

<https://bnuhc.shop/collections/bnuhc>



テーブルに BNUHC-18 を常備する飲食店の例

（左・麻布十番「ピッコログランデ」／右・T.G.I. FRIDAY'S）

発売の背景

2年にも及ぶパンデミックが明らかにしたのは、継続的にアルコールを使用すると確実に皮膚が荒れることでした（アルコールは皮膚のタンパク質をこわすため）。そのため、アルコールに対しては心理的な抵抗感が働き、実際には除菌が機能していません。

BNUHC-18は皮膚に触れても手荒れなどの問題がなく、しみたりすることもない除菌剤です。この点をご評価いただき、ワタミの各店舗やイタリアンレストランなどに採用されています。

感染防止には換気主体のエアロゾル感染対策が最も重要であると言われていますが、不特定多数が出入りし、マスクをとってしゃべる飲食店や、多数が出入りするオフィスのトイレなどは接触感染・飛沫感染のリスクも高い。トイレの床に飛び散ったウイルスが再び舞い上がって、配管を通じてマンションの他の階に感染をひろげた例もあります。

GSEを空間にスプレーすることで、GSEが部屋の露出表面に拡散しますから、こうしたリスクを小さくすることも期待されます。

参考論文

COVID-19 Cluster Linked to Aerosol Transmission of SARS-CoV-2 via Floor Drains

<https://academic.oup.com/jid/advance-article/doi/10.1093/infdis/jiab598/6505230>

GSEのエビデンスについて

GSEのエビデンスについては、多数の論文が出ています。詳しくはこちらの記事をご覧ください。

[緊急告知] GSEの室内スプレーにも一定の効果

https://mistect.jp/2022/spray_effect/

お問い合わせ先

インフォリーフ株式会社

BNUHC お問い合わせ窓口

<https://bnuhc.info/contact/>

